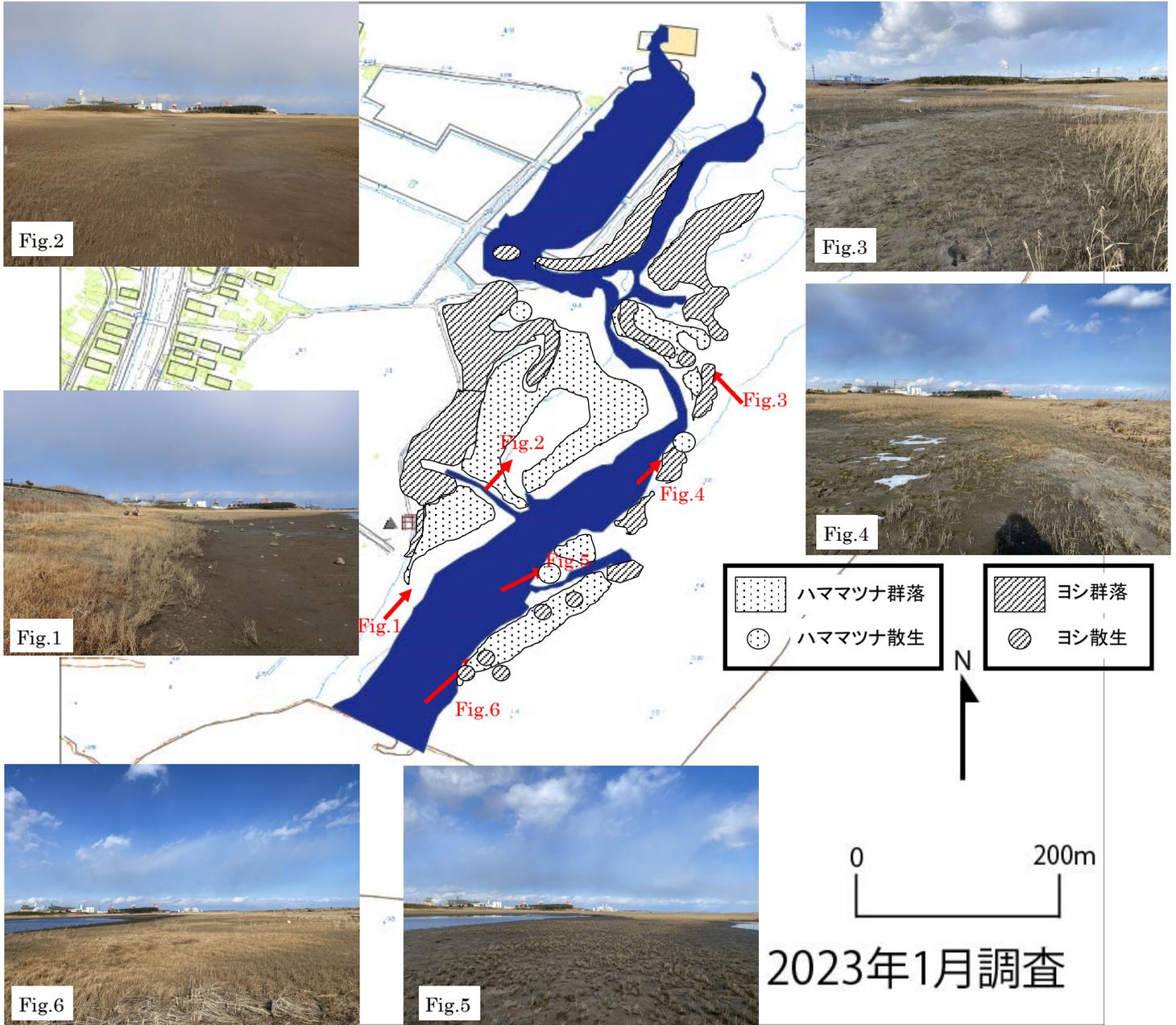


ハマツナの分布②



調査日時：2023年1月31日（火）13:30～15:00、天気：晴れ

昨年2月に行った調査（No. 296参照）と同様に、ハマツナの生育場所を調査した。12月に調査したヨシの分布と合わせて分布図を作成した。ヨシと同様にハマツナの分布は年々変化しており、継続的に確認する必要がある。潟湖西側では、日和山から降りたエリアに点在し（Fig. 1）、そこから北側に大きく広がっている。今年は、増水した際に、多くのハマツナが流失したため、ハマツナがなくなったエリアができた（Fig. 2）。潟湖北側の潟湖が枝分かれしたエリアでも広く分布しているのが見られた（Fig. 3）。そこから、南下していくと、潟湖の水際に沿ってハマツナがわずかに点在していた（Fig. 4）。潟湖東側にある潟湖が東に張り出したエリアでは、満潮時にはすっかり海水に覆われてしまう部分があるが、この日は水が引いていたためハマツナが散生しているのが確認できた（Fig. 5）。さらに南下していくと、広範囲にハマツナの群落ができている。他のエリアのハマツナは近くにヨシが生えているが、このエリアで見られるヨシは、まだ少なく、昨年とあまり大きく変わっていない（Fig. 6）。

（宮崎佳彦）